

施策番号	112	施策名	健康づくりの推進	主管課名	保健福祉課
総合計画 体系	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	令和 2 年度課長名	水島 剛
	関係課名			シート作成者	小柳 晴子

1. 施策の対象と意図の指標

① 施策の対象(誰、何が対象か)		③ 対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 町民	→	ア	町民人口	人	見込値			12,143	11,970	11,800
						実績値	12,926	12,754	12,625	
イ	→	イ			見込値					
						実績値				
ウ	→	ウ			見込値					
						実績値				
② 施策の意図(対象をどうしたいのか)		④ 成果指標(意図の達成度)		単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 健康な状態で生涯を暮らしてもらう	→	ア	特定健診の受診率(町の受診率)	%	目標値	52.0	52.5	53.0	51.0	51.5
					実績値	49.9	47.8	37.6		
					達成率	96.0%	91.0%	70.9%	73.7%	73.0%
イ 心身ともに健康で暮らしてもらう	→	イ	国保被保険者1人当たりの医療費 (国民健康保険事業状況から) (前年度実績を入力)(参考)	千円	目標値	390	380	375	430	425
					実績値	438	430	455		
					達成率	89.0%	88.4%	82.4%	94.5%	93.4%
ウ 心身ともに健康で暮らしてもらう	→	ウ	健康だと思う町民の割合	%	目標値	77.0	79.0	80.0	72.0	72.5
					実績値	71.4	71.9	68.8		
					達成率	92.7%	91.0%	86.0%	95.6%	94.9%
エ	→	エ	健康のために日頃何か心掛けて いる町民の割合	%	目標値	97.0	97.5	98.0	98.0	98.0
					実績値	96.9	97.7	97.8		
					達成率	99.9%	100.2%	99.8%	99.8%	99.8%
⑤ 成果指標 設定の考え方	他市町村との比較ができるものとして、特定健康診査受診率・一人 当たりの医療費を採用。また、町民アンケートからは、各年代層の 健康観が見えると判断した。			⑥ 成果指標の 把握方法と 算定式等	ア:担当課からのデータ イ:国民健康保険事業状況(岡山県)R2年度実績 ウ・エ:町民アンケート					

2. 施策の役割分担

	① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
施策成果向上 に向けた 住民と行政との 役割分担	健康づくり条例第4条:健康づくりは、まず町民一人ひとりの取組が必要。そのためには自らの健康状態を把握し、「自分の健康は自分で守る」という意識を持ち、自らの健康状態に応じた健康づくりに主体的に取り組むように努める。	健康づくり条例(平成25年12月制定)に基づき、町民の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に策定し、推進する。 町民、地域団体、事業者、保健医療関係者などとの連携強化に努め、社会全体で健康づくりができる環境を整備していく。

3. 評価結果

1. 施策の成果水準とその背景・要因	
2 年度 の 評価結果	① 成果指標の時系列比較(成果は向上したか?低下したか?要因は?)
	<ul style="list-style-type: none"> R2年度の特定健診は、コロナ感染症により延期や変更があり受診率は37.6%に減少した。(がん検診も同様) R1年度の国保一人当たり医療費は455,055円で、H30年度429,532円より増加している。 町民アンケートにおいて、健康だと思う町民の割合は、昨年と比較し3ポイント減少している。 健康のために日頃から心掛けている人の割合は、0.1ポイント上昇し、年々達成率が上昇している。
	<input type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない <input checked="" type="checkbox"/> 低下した
2 年度 の 評価結果	② 他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)
	<ul style="list-style-type: none"> R1年度の国保一人当たり医療費は、鏡野町455千円で高い方から県下10位。昨年は14位で医療費が増加している。(岡山県平均431千円)。 特定健診法定報告では、R1年度は町48.9%、県30.5%で県下1位で高い受診率を維持している。(30年度3位) 特定健診を受けていない者は、受けている者と比較し1人当たり医療費が高額となっている。また、医療にかかっている者の健診の受診状況は3年継続未受診者が多い傾向がある。
	<input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
2 年度 の 評価結果	③ 住民の期待水準との比較(住民の期待よりも高い水準か、低い水準か、どんな意見や要望が寄せられているか?)
	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジ90日は、コロナ禍においても、1,014人の参加があり、健康づくりのきっかけになったとの声が多かった。 地域ぐるみで健康づくりに取り組み、地域づくりにつながる体制の整備を推進するため、新たな取り組みが必要との意見があった。
	<input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
2. 施策の成果実績に対する 2 年度の取組や目標達成度	
2 年度 の 評価結果	■ 2 年度の主な取組の成果(改革改善した取組、目標の達成度は?)
	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でも実施できる健診として、予約制を導入して3密を防ぎスムーズな健診が行える体制づくりを行い、個別健診や人間ドック助成事業の推進を行った。 チャレンジ90日は、町内企業へ呼びかけを行い、コロナ禍においても、ほぼ例年どおり1,014人の参加があった。 地域ぐるみで健康づくりに取り組み、地域づくりにつながる体制の整備を推進するため、電子マネーを取り入れたポイント制度に取り組んでいる奈義町に視察に行き、関係各課と協議を行った。 新型コロナ対策として、感染防止の啓発や防疫対策の物品整備等を行った。
	<input type="checkbox"/> 目標値以上 <input type="checkbox"/> 目標値どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標値以下
3. 施策の今後の課題と改革改善の方向(うまくいかなかった取組や事務事業は?その原因は?)	
2 年度 の 評価結果	<ul style="list-style-type: none"> R2年度は、コロナ禍において、全ての事業が実施困難な状況であった。今後は、適切な感染症対策を行ったうえで実施する方法を検討していく。また、新型コロナウイルス感染症対策として、住民へ感染防止の啓発に取り組むとともに、ワクチン接種を推進していく。 「健康かがみの21」中間評価を基に、各分野(栄養・運動・休養・たばこ・アルコール・口腔・健診・地域のつながり・自殺対策)における取り組みを検討し実施していく。特に、コロナ禍においても現在より更に健康づくりを推進していくため、ポイント事業の実施を検討する。 特定健診においては、コロナ禍においても受診しやすい体制として、関係機関と連携して個別健診及び人間ドック助成事業の推進を図る。また国保新規加入者や未受診者に対して個別に受診勧奨を行い、保健指導においては、受診当日に実施するなど改善して利用率の向上につなげる。